

ご用命・お問い合わせ先  
アペックス産業株式会社  
電話 03-3455-6474  
FAX 03-3455-6558  
(詳しい案内は当社のホームページをご覧ください)  
URL <https://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。

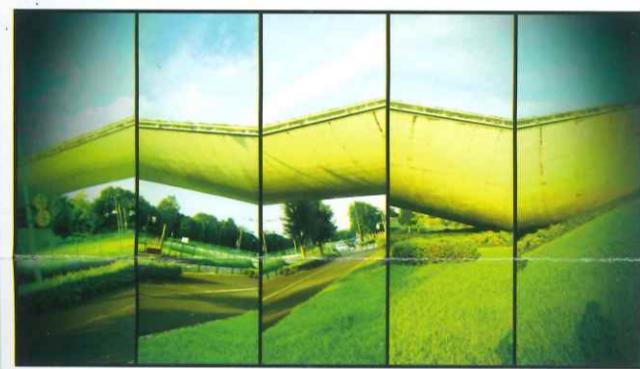
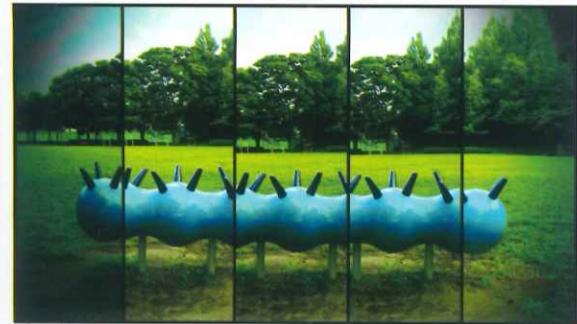
# APEX CLUB

'23/11 第56号

アペックス産業株式会社

『APEX CLUB』  
発行 2023年11月1日(通算56号)  
発行所 アペックス産業(株)「APEX CLUB」編集委員会  
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4  
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558  
URL <https://www.apex-sangyo.jp>  
発行人 元木 貢  
編集委員会  
編集委員長 篠原 紗乃  
編集委員 彦根 良雄、伊東 由里絵、杉山 敏  
DTP・印刷 (有)協立印刷社

## GALLERY



### 多視点風景写真

公募の写真展を見に行って感動する風景写真に出会った例がない。展示してある写真の多くは場所、季節と時間を選んで最高の条件で撮影されているが、こういう風景はどこかで見たことがあるという既視感を覚えてしまう。絵画に描かれた世界を写真で再現するのが、素晴らしい風景写真だと思って撮影しているのかも知れない。常識を覆す新しい発想で独特的の風景写真を創り出したいと思った。

ルネサンス以前の絵画は正確な描写が素晴らしい絵の基準だった。その後、画家の印象を描く絵が登場し、セザンヌは多視点で画面を構成している。ピカソに至ってはさまざまな視点からのバラバラな認識を1つの画面に再構成した絵を描いた。私はデジタルカメラに内蔵されている機能を利用して、普段見慣れている風景を多視点で記録してみた。

### 略歴

石崎 幸治 (いしざきこうじ)  
写真家、エッセイスト、イラストレーター 1947年東京生まれ。76歳。1971年早稲田大学商学部卒。在学中早稲田大学写真部に所属し卒業後フリーランスのカメラマンになる。主に新聞社や出版社の依頼で撮影をする。その後旅行記を書いたことがきっかけになって写真に添えるエッセイも書くようになる。また水彩画と焼き物も45歳のときに始め公募展で入選している。

### 外回り中の思い出

外回りをしていると、様々な人や出来事に遭遇し、時には嫌なこともあります。しかし、楽しいことや心が豊かになることもあります。

ある日、現場での作業を終えて車に戻ると、たまたま支援学校の

送迎バスが横に止まり、中から小

学生と思われる男の子が降りて来

かって走っていき、安心しきった顔

で胸に顔を埋めしばらく抱きつい

ていました。お祖父さんは傘をさ

しかけたまま、やさしい笑顔で男

の子の頭を撫でていました。帰りの

車の中で、ふと自分が子どもだった

頃を思い出しました。

私の両親は、当時では珍しく共

働きであったため、日常の身の回り

の世話は祖母がしてくれています。

その祖母は血がつながっています。

(実祖母は原爆で死亡)

にもかかわらず、とてもかわいいがついていました。その祖母は血がつながっています。

私も常に側にいた記憶があります。

市場に行けばお菓子やおもちゃを

買ってもらったり、また両親から叱

られているときには、間に入つて取

### むし籠

### アペックス産業の 飼育室

当社は害虫、害獣の防除の他に、試験や教育のため色々な昆虫を飼育しています。

飼育しているのはゴキブリやダニ、シバンムシなどの害虫で、毎日社員が世話をしています。飼育している害虫たちは、私たちが防除を行っている現場の害虫と薬剤の効き方を比較したり、販売したり、新人研修として活用しています。

仕事で防除を行っていても、害虫をはじまじと見ることはあまりありませんので、飼育をすることです。幼虫から成虫までしっかりと観察ができるためとても大切です。

昆虫たちは基本的に、仕事先から捕まってきたものを飼育しています。そのため毎回手探りで世話を

のせいか、飼育している昆虫に愛着が沸く社員もいるようです。



### 秋～冬に増加する ネズミ被害

#### おじやま虫 Q&A

##### A Q

ネズミの被害は冬場に多いの?

ネズミは環境適応能力が高い動物ですが、基本的に寒さに弱い生物です。ネズミの住み場所の変化は、季節的にもみられます。特に秋から冬にかけて気温が下がる時期は、家や建物内に侵入し、一定の気温に保たれている暖房の効いた部屋や断熱材がある天井裏・屋根裏などに住み着くことが多いです。

##### 対策はどうしたらいいの?

ネズミの対策として重要なのは、①餌となる食糧をなくす、②整理整頓により巣を作らせない、③建物への侵入と移動を阻止することです。

##### ②整理整頓

ネズミは神経質な生き物で、安定した餌場、寝床を好むため、普段から整理整頓を行い、食べ物はケースにしまう、収納となる段ボールや新聞紙などは散らかさないなど、ネズミの住みやすい環境を作らないことが最も大切な方法です。

##### ③建物への侵入と移動を阻止する。

ネズミは、最小で1cm程度の隙間にあれば侵入してしまうため、侵入口となりそうな通気口やパイプ周り等の隙間に、封じることができない金網などを設置し、侵入させないようにすることが重要です。

お困りでしたら、ペストコントロール専門業者にご相談ください。

周囲等の隙間に、

繋がることで、

侵入させないようにする

ことがあります。

因となります。

冬場は虫などの影響が少ないため、ゴミや食材を屋外に放置してしまいネズミを呼び寄せる原

りなしりしてくれました。  
102歳で他界した祖母との懐かしい時を思い出させてくれた良い出会いでした。

### 虫めがね

職業分類にペストコントロール業が立項されました

職業分類には、産業別統計に使われる日本標準産業分類の職業別統計に使われる日本標準職業分類、ハローワークで使われる厚生労働省の職業分類があり、定期的に改正されています。戦前はペストコントロールという職業がなく、業種の確立がペストコントロール業界の悲願でした。ここへきて蚊が媒介する Dengue熱の国内発生、特定外来生物の侵入、新型コロナウイルスのパンデミック、地震や台風などの災害が矢継ぎ早に発生し、防疫作業が大きく報道され、私たちの業務の重要性が注目されています。

このような状況の中では、昨年には日本標準産業分類が改正され「その他の事業サービス」の中にペストコントロール業が、この3月には厚労省の職業分類が「運搬・梱包・清掃の職業」から「研究・技術の職業」に移行し、ペストコントロール技術者が立項されました。

この職業分類は、他の職業サービスの中でも、運搬・梱包・清掃の職業が「運搬・梱包・清掃の職業」から「研究・技術の職業」に移行し、ペストコントロール技術者が立項されました。

# 標本棚 私と文芸



## 江戸城築城の秘話（その十四）

江戸歴史文化研究員 塚田孝

橋の南詰には高札場があり大高札場と称され重要度の高い場所であり、その反対側は晒し場で、罪人を晒しにかける時だけ使用した。明暦の大火後は万治2年

（1659）に橋が再建され、徐々に日本橋という名前が定着していった。日本國中から人が集まつて誰が名づけたということもなく、天から降つてたのか、地から湧いたのか、

いつの間にか日本橋と呼ぶようになつた。天下の中心を江戸に

据えて、その出发点としての大

きな意味を持つていた。

## キツネのくつ泥棒

麻布大学獣医学部動物応用科学科  
野生動物学研究室 教授 塚田英晴

うか？ニユースなどでも取り上げられたので、見聞きした方もおられると思います。有名なのが兵庫県丹波市の黒井地区で、この集落では、実際に200足ものくつやスリッパがキツネに盗まれていました（写真）。

こうしたキツネによるくつ泥棒は、全国各地で報告されており、日本と同じ種類のアカギツネが生息するイギリスやドイツなどの海外でも報告されています。なぜキツネは、くつを盗むのでしょうか？調べてみるといくつかの共通点が浮かび上りました。一つは、発生時期です。キツネのくつ泥棒は、5月から8月ぐら

いまでの春から夏に集中し、冬には起き

ドイツなどの海外でも報告されています。

なぜキツネは、くつを盗むのでしょうか？



写真 キツネのくつ泥棒の現場（兵庫県丹波市黒井）奥にキツネの巣穴が見える

## 古いの道楽 —二ホンミツバチ養蜂

筑波大名誉教授 田神一美

二ホンミツバチ（以後二ホンと記す）は本邦土着種で、沖縄と北海道を除く全域に生息する。セイヨウミツバチより小型で、体色が黒く、攻撃傾向が穢やかで巣箱の掃除などの業務が安全にでき、飼育しやすい。そんな甘言に乗り、おいしい蜂蜜が手に入るとの目論見もあって私の素人養蜂が始まった。桜が満開のころ、二ホンの分蜂が始まることを「入居」と呼ぶ。巣箱を出入



写真は二ホンミツバチの菜の花の蜜の様子（蝶と違って側面から花弁を押し開いて蜜腺から直飲みする。これは菜の花の受粉に貢献できない）



長瀬で荒川を渡る「SL秩父夜祭号」

江戸長8年（1603）に初代の木造の橋が架けられた。もともとは二本橋で通常

の橋より広い2本の道筋がある橋であつた。

橋の西側は慶長19年（1614）神田の

鎌倉河岸の魚河岸部分が日本橋に移転し、

江戸橋まで日本橋に沿い1日千両の商

いがあった。さらに娯楽の為の芝居町の

奥に葭原（吉原）遊郭も設営し大繁華街を

形成していった。その後も「民の繁榮な

くして國の繁榮なし」との考えから民の

生活と経済の繁榮こそが國の礎であると

の大方針を守り続けてきた。

元和4年（1618）には木製の大橋に

架け替えられ、長さ28間（50.8m）で翌

年、五街道の基点と定められた。江戸の

御入用橋（幕府が維持管理する

橋）として擬宝珠が取り付けられ

ていたのは、京橋と新橋と日

本橋のみである。

橋の南詰には高札場があり大高札場と

称され重要度の高い場所であり、その反

対側は晒し場で、罪人を晒しにかける時

だけ使用した。明暦の大火後は万治2年

（1659）に橋が再建され、徐々に日本

橋という名前が定着していった。日本國

中から人が集まつて誰が名づけたとい

うこともなく、天から降つてたのか、地

から湧いたのか、

いつの間にか日

本橋と呼ぶようになつた。天下の

中心を江戸に

据えて、その出

発点としての大

きな意味を持つ

ていた。

橋の南詰には高札場があり大高札場と

称され重要度の高い場所であり、その反

対側は晒し場で、罪人を晒しにかける時

だけ使用した。明暦の大火後は万治2年

（1659）に橋が再建され、徐々に日本

橋という名前が定着していった。日本國

中から人が集まつて誰が名づけたとい

うことなく、天から降つてたのか、地

から湧いたのか、

いつの間にか日

本橋と呼ぶようになつた。天下の

中心を江戸に

据えて、その出

発点としての大

きな意味を持つ

ていた。

橋の南詰には高札場があり大高札場と

称され重要度の高い場所であり、その反

対側は晒し場で、罪人を晒しにかける時

だけ使用した。明暦の大火後は万治2年

（1659）に橋が再建され、徐々に日本

橋という名前が定着していった。日本國

中から人が集まつて誰が名づけたとい

うことなく、天から降つてたのか、地

から湧いたのか、

いつの間にか日

本橋と呼ぶようになつた。天下の

中心を江戸に

据えて、その出

発点としての大

きな意味を持つ

ていた。

橋の南詰には高札場があり大高札場と

称され重要度の高い場所であり、その反

対側は晒し場で、罪人を晒しにかける時

だけ使用した。明暦の大火後は万治2年

（1659）に橋が再建され、徐々に日本

橋という名前が定着していった。日本國

中から人が集まつて誰が名づけたとい

うことなく、天から降つてたのか、地

から湧いたのか、

いつの間にか日

本橋と呼ぶようになつた。天下の

中心を江戸に

据えて、その出

発点としての大

きな意味を持つ

ていた。

橋の南詰には高札場があり大高札場と

称され重要度の高い場所であり、その反

対側は晒し場で、罪人を晒しにかける時

だけ使用した。明暦の大火後は万治2年

（1659）に橋が再建され、徐々に日本

橋という名前が定着していった。日本國

中から人が集まつて誰が名づけたとい

うことなく、天から降つてたのか、地

から湧いたのか、

いつの間にか日

本橋と呼ぶようになつた。天下の

中心を江戸に

据えて、その出

発点としての大

きな意味を持つ

ていた。

橋の南詰には高札場があり大高札場と

称され重要度の高い場所であり、その反

対側は晒し場で、罪人を晒しにかける時

だけ使用した。明暦の大火後は万治2年

（1659）に橋が再建され、徐々に日本

橋という名前が定着していった。日本國

中から人が集まつて誰が名づけたとい

うことなく、天から降つてたのか、地

から湧いたのか、

いつの間にか日

本橋と呼ぶようになつた。天下の

中心を江戸に

据えて、その出

発点としての大

きな意味を持つ

ていた。

橋の南詰には高札場があり大高札場と

称され重要度の高い場所であり、その反

対側は晒し場で、罪人を晒しにかける時

だけ使用した。明暦の大火後は万治2年

（1659）に橋が再建され、徐々に日本

橋という名前が定着していった。日本國

中から人が集まつて誰が名づけたとい

うことなく、天から降つてたのか、地

から湧いたのか、

いつの間にか日

本橋と呼ぶようになつた。天下の

中心を江戸に

据えて、その出

発点としての大

きな意味を持つ

ていた。

橋の南詰には高札場があり大高札場と

称され重要度の高い場所であり、その反

対側は晒し場で、罪人を晒しにかける時

だけ使用した。明暦の大火後は万治2年

（1659）に橋が再建され、徐々に日本

橋という名前が定着していった。日本國

中から人が集まつて誰が名づけたとい

うことなく、天から降つてたのか、地

から湧いたのか、

いつの間にか日

本橋と呼ぶようになつた。天下の